



「ヒロシマ～昇る魂」

作/証言者:笠岡 貞江 制作者:立川 奈緒 所蔵/広島平和記念資料館

ヒロシマ

「原爆の絵」展

Atomic Bomb Drawings



「再会」

作/証言者:梶本 淑子 制作者:三戸 奈津美 所蔵/広島平和記念資料館

平和の想いを受け継ぐ
～未来へのメッセージ～



広島の高校生が
被爆体験証言者の
記憶や思いに寄り添い、描き伝える



令和7年(2025)

8月1日(金)～31日(日)

観覧
無料

火曜～金曜 午前9時30分から午後8時まで (8月4,12,14,18,25日 休館)
土曜・日曜・休日 午前9時30分から午後6時まで

開催場所 相模原市立図書館 2階 ギャラリー他
相模原市中央区鹿沼台2-13-1

聞いてみよう

《被爆体験のお話》

日時: 8月13日(水) 午後3時30分～午後4時30分
場所: 相模原市立図書館 2階 中集会室

主催:相模原市 企画:市民平和のつどい実行委員会
お問合せ:相模原市 市民局 国際課 TEL:042-707-1569
メールアドレス:kokusai@city.sagamihara.kanagawa.jp



— 高校生が被爆体験を絵に描く —

基町高校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による「原爆の絵」

広島平和記念資料館では、広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの協力を得て、2007年度（平成19年度）から、被爆体験証言者と同校生徒が共同し、証言者の記憶に残る被爆時の光景を高校生が絵に描き、当時の状況を伝える「原爆の絵」の制作に取り組んでいます。

この取組は、被爆者が高齢化するなか、被爆の実相を絵画として後世に残すこと、そして、絵の制作を通して、高校生が被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考えることを目的として行っています。

何度も打ち合わせを重ねながら制作される絵は、当時の惨状を克明に描き出すものであり、また、証言者の記憶や思いに高校生が寄り添い、双方の気持ちを共に伝えるものです。

被爆体験の継承の一つの形として、一人でも多くの方に絵をご覧いただければ幸いです。

[制作方法]



① 証言者の被爆体験を詳細に聴き取る。



② 証言者が描くイメージ図や、わずかに残る写真資料をたよりに、構図を練る。



③ 色を重ねながら、光景を忠実に再現していく。



④ 1年の制作期間中、何度も証言者が絵を確認し、直しながら完成を目指す。